



独立行政法人 国立病院機構
鹿児島医療センター附属

鹿児島看護学校



羽ばたく

凜と輝け 未来のわたし

SCHOOL GUIDE
2021



基本理念



人間愛と探究心を育み、
ヒューマンケアの
実践者を育成します。



● 教育目的

看護師として必要な知識・技術、および柔軟な思考力と主体性を身につけ、人としての尊重、人権の擁護を基本として、人々の健康に貢献できる看護師を育成する。



● アドミッションポリシー

本校では、卒業後専門職として、独立行政法人国立病院機構や社会に貢献するために次のような人を求めています。

- ◎ 豊かな感性を持ち、人を大切にできる人
- ◎ 看護への関心をもち、医療専門職への強い意欲のある人
- ◎ 学習意欲があり物事に積極的に取り組むことができる人
- ◎ 自分のことに責任を持てる人
- ◎ 人と人との関わりを大切に、
チームワークに必要な協調性を持つ人

● 沿革

昭和 21 年 4 月	2 年課程養成所の国立鹿児島病院附属養成所として発足
昭和 23 年 4 月	国立鹿児島病院附属高等看護学院と改称
昭和 28 年 4 月	厚生省組織規定の一部改正により国立療養所鹿児島病院附属高等看護学院と改称
昭和 33 年	2 年課程より 3 年課程に切り替え
昭和 50 年 4 月	国立鹿児島病院附属高等看護学校と改称
昭和 51 年 4 月	学校教育法第 82 条の 2 に規定する専修学校となり、看護専門課程看護学科となる
昭和 56 年 4 月	厚生省組織規定の一部改正により国立南九州中央病院附属看護学校と改称
平成 6 年 4 月	国立南九州中央病院附属看護学校と国立療養所霧島病院附属看護学校が統合し、 定員 1 学年 120 名に大型化され、国立南九州中央病院附属鹿児島看護学校と改称
平成 12 年 7 月	母体病院の名称改称により国立病院九州循環器病センター附属鹿児島看護学校と改称
平成 16 年 4 月	国立病院が独立行政法人国立病院機構に移行したため、 独立行政法人国立病院機構九州循環器病センター附属鹿児島看護学校と改称
平成 18 年 4 月	母体病院の名称改称により 独立行政法人国立病院機構鹿児島医療センター附属鹿児島看護学校と改称
平成 21 年 4 月	校章変更
平成 25 年 4 月	入学定員 80 名に変更



平成 27 年 4 月 6 日大型校 20 周年記念に
植樹された泰山木（同窓会より寄贈）

● 校章について



周りの黄色の円は『看護の手』のイメージで、ふれあいを大切にする心、人の心を包み込むような優しさを表現しています。中央部分は、Kagoshimaの頭文字『K』と未来に羽ばたく『鳥』をかけたデザインで、胴体部分のピンクは鹿児島の温暖な気候や人々のあたたかさを、羽の緑と尾の水色は山や海などの豊かな自然をイメージしています。羽の緑の部分に記された『1947』は本校の開校年を表しています。

● マスコット「けあっと」

学生自治会が本校の理念のヒューマンケアの「ケア」とうさぎの「ラビット」から誕生させたマスコットです。



ワタシは
「けあっと」！
よろしくね♪

学校長挨拶

国立病院機構鹿児島医療センター附属鹿児島看護学校は、前身の国立鹿児島病院附属看護婦養成所の開設（昭和21年4月）に始まり、平成6年4月の国立療養所霧島病院附属看護学校との統合により国立南九州中央病院附属鹿児島看護学校として整備され、その後、本体の病院名称変更などに伴い、平成18年から現在の学校名となりました。開校70年を超え、この間の卒業総数は5000名を超えています。多くの素晴らしい看護師を輩出している伝統校の一つです。卒業生は、鹿児島はもちろん、全国で活躍しております。

現在の看護は医療の発展とともに、仕事内容も多岐にわたり、より専門性を求められるようになりました。認定看護師・特定看護師そして診療看護師制度もでき、さらなる看護師一人一人の質の向上が求められています。一方では「患者さんに寄り添う」看護の原点を忘れてはなりません。この両方をバランスよく教育し、学習の基本を教えるのが看護教育と思っております。

本校は今まで培ってきた伝統と豊富な経験に基づき、また素晴らしい教員を揃え若い看護師を育てています。母体病院である鹿児島医療センターは「循環器・がん・脳卒中」を3本柱として診療を行っています。また鹿児島県内の国立病院機構施設には南九州病院、指宿医療センターがあり、それぞれが特徴のある医療を提供しています。講義や看護実習などを通して、多彩な経験が可能で、学生一人一人に適する医療分野や進路を決める際にも大きく役立つと考えています。

国立病院機構鹿児島医療センター附属鹿児島看護学校で看護師としての大きな一歩を踏み出してみませんか。本校のスタッフは大きな可能性をもつ若人が、大きく成長するように誠心誠意サポートしていこうと思っております。一緒に勉強し、一緒に医療のこと、看護のことを考えてみましょう。



学校長 田中 康博



副学校長挨拶



副学校長 深野 久美

当校の基本理念は、「人間愛と探究心を育み、ヒューマンケアの実践者を育成する」です。この理念のもと、多くの学生が看護を学び全国の医療機関で活躍してきました。しかし、医療の在り方は時代によって日々変化しています。今や医療は、病気を治療するだけでなく、病気があっても住み慣れた場所で生活することへの支援へと移行しています。それに伴い社会が求める看護師像も、医師の指示を確実に実施する人ではなく、自主的に行動、判断し、患者さんに必要な看護を実践できる人へと変わってきました。このような人材を育てるためには、講義・演習・実習と一貫した質の高い教育環境が必要です。当校は、医師をはじめとする臨床で活躍している様々な医療職が講師陣に加わっています。臨地実習では、教員と病院の指導者が常に連携を取りながら実習指導を行っているため、安心して看護実践を学ぶことができます。皆さんもこの学校で一緒に看護を学んでみませんか？

カリキュラム 3年間で98単位、3,030時間の講義・実習を履修します。

統合分野

講義8単位、実習4単位

各看護学の学科と臨地実習を通しての学びを統合し発展させる科目である。

【科目】

在宅看護概論	看護の統合と実践Ⅰ(医療安全管理・技術統合演習)	在宅看護論実習
在宅看護方法論Ⅰ	看護の統合と実践Ⅱ(看護管理・演習)	管理統合実習
在宅看護方法論Ⅱ	看護の統合と実践Ⅲ(国際看護／災害看護・演習)	
	看護の統合と実践Ⅳ(医療者コミュニケーション・技術統合演習)	

専門分野Ⅱ

講義22単位、実習16単位

成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学で構成され、基礎分野、専門基礎分野、専門分野Ⅰでの学習内容を基礎として、対象に応じた看護の方法を学習する科目である。

【科目】

成人看護学概論	成人看護学方法論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	成人看護学実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
老年看護学概論	老年看護学方法論Ⅰ・Ⅱ	老年看護学実習Ⅰ・Ⅱ
小児看護学概論	小児看護学方法論Ⅰ・Ⅱ	小児看護学実習
母性看護学概論	母性看護学方法論Ⅰ・Ⅱ	母性看護学実習
精神看護学概論Ⅰ・Ⅱ	精神看護学方法論Ⅰ・Ⅱ	精神看護学実習

専門分野Ⅰ

講義11単位、実習3単位

基礎看護学として、看護の概念や歴史、看護の対象としての人間と健康の理解、基礎看護技術、基礎的な臨床看護技術、看護理論と看護過程、看護研究の基礎について学習する科目である。

【科目】

看護学概論	基礎看護技術Ⅳ(看護理論と看護過程展開・演習)	基礎看護学実習Ⅰ
看護研究の基礎	臨床看護技術Ⅰ	基礎看護学実習Ⅱ
基礎看護技術Ⅰ(基本看護技術)	臨床看護技術Ⅱ	
基礎看護技術Ⅱ(日常生活援助技術)		
基礎看護技術Ⅲ(日常生活援助技術)		

専門基礎分野

21単位

専門分野Ⅰ・Ⅱや統合分野で看護を学ぶ上で基礎となる、人体の理解や健康と疾病の理解、保健・医療・福祉と人間生活の関連を系統立てて学習する科目である。

【科目】

解剖学	薬理学	保健医療論	関係法規
生理学	病態学総論	生命倫理	
生化学	病態学各論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ	公衆衛生学	
微生物学	治療論	社会福祉	

基礎分野

13単位

看護の対象である人間と人間生活の理解および科学的思考の基盤を形成する科目である。

【科目】

論理学	社会学・国際社会学(選択)	英会話
情報科学	人間関係学	看護英語
教育学	集団力学理論	体育理論・実技
心理学	英語講読	

CAMPUS LIFE

先輩たちのキャンパスライフから、あなたの3年間で想像してみよう！



実際の学校生活ってどんな感じなのかな？
「けあっと」が紹介するよ！



学生たちのとある1日

寄宿舍 暮らしのAさん

2年生



実家 暮らしのBさん

3年生



在校生からのメッセージ



1年生(29回生)

杉田 百花さん
鹿児島県立国分高校 出身

私がこの学校に入学した頃は、看護師になるために必要な勉強量の多さ、そしてそれを3年間で習得できるのだろうかという不安でいっぱいでした。しかし、実際に講義が始まると先生方の熱の入ったご指導と親身になって私たち学生を支えてくださる環境のおかげで、その不安は次第になくなりむしろ安心して学びに専念できるようになりました。今は6月にある初めての実習に向けて、基礎看護学の勉強を頑張っています。

また、生徒主体となって様々な行事や活動に取り組むことが多いので、学生間の距離がすぐに縮まるだけでなく主体性も身に付けられます。私も何か挑戦してみようと思い、前期のクラス長としてクラス内だけでなく先輩方や先生と連携を取るなど、多くの交流を通して毎日刺激をもらっています。自分の理想の看護師像を追い求めて、同じ夢を持つ仲間たちと共に日々成長しながら3年間頑張っていきたいと思います。



2年生(28回生)

竹島 愛さん
鹿児島市立鹿児島玉龍高等学校 出身

1年生の講義では、看護の対象を理解するために解剖生理学や病態学といった医学的な知識や基礎看護技術について学びました。基礎看護技術では学生同士が看護師役と患者役になり技術練習に励みました。2年生になると、人間の各成長発達に応じた専門的かつ実践的な知識や技術を学ぶようになり、実習の科目数も増えてきます。実習では、実際に患者さんとコミュニケーションをとることでその人の個性や入院生活に対するの思いを知ることができます。このように多くのことが学べる実習を、本校では国立病院機構の病院で出来るのが最大のメリットです。これからもレベルアップした知識や技術の修得を目指して講義や演習に主体的に取り組みたいと思います。

患者さんの個性に応じた看護が提供できるようこれからも精一杯頑張りたいと思います。そして、共に看護師を目指す友達や先生方に支えられながら充実した学校生活を送っていきたいと思います。



3年生(27回生)

日高 良菜さん
鹿児島県立川内高等学校 出身

3年生の実習では、1・2年次の講義や演習で修得してきた知識や技術を活用し、対象に応じた看護を実践していく実習が中心になります。小児期にある子どもやその家族への看護を学ぶ小児看護学実習、周産期にある妊産婦への看護を学ぶ母性看護学実習、また、住み慣れた地域で療養している対象への看護を学ぶ在宅看護論実習などがあり、より専門的な看護を学んでいます。

これまでの実習を通して強く感じたことは、患者さんが望む看護と私たちが提供する看護をいかにつなぎ合わせられるかということです。患者さんの思いを第一に考えられる看護を目指し、日々探求心をもって実習に取り組みたいと思います。

実習と看護師国家試験に向けた勉強と大変な一年になりますが、いつでも親身になって相談に乗ってくださる先生方がいる恵まれた環境で学べることに感謝し、同じ志を持った仲間と共に努力していきたいと思います。

学校生活について

Q & A

Q 受験対策はどのようなことをされましたか？

A 私は、独立行政法人国立病院機構九州グループのHPから過去の問題をダウンロードして、問題の傾向を把握しました。高校で行っているセンター試験対策を中心に学習するといいですよ。

Q 学生生活は楽しいですか？

A 同じ看護師になる目標を持つ仲間と共に過ごすことで、楽しい日々を送っています。実習は記録が大変ですが、これまで講義で学習してきたことを患者さんに実践できたときは嬉しくなります。つらいこともありますが、みんなで声を掛け合い、支えあうことで乗り越えられています。

Q 給付型奨学金や入学金・授業料の減免を受けられる学校ですか？

A はい、そうです。令和2年度の対象機関として厚生労働省から認定を受けています。

● 主な実習施設

鹿児島医療センター



鹿児島看護学校の母体病院です。病院は、鹿児島市の中央部に位置し、近くには黎明館など歴史的建物が多く、敷地内には私学校跡の記念碑が建設されています。また、利便性もよく環境的に恵まれています。「循環器・がん・脳卒中」を3本柱とした診療機能を有する急性期病院で、「安心・信頼・責任ある看護」を理念とし、患者様一人ひとりの気持ちに添える看護が実践できる看護師を育成しています。



鹿児島医療センター

看護部長 村田 淳子

南九州病院



指宿医療センター



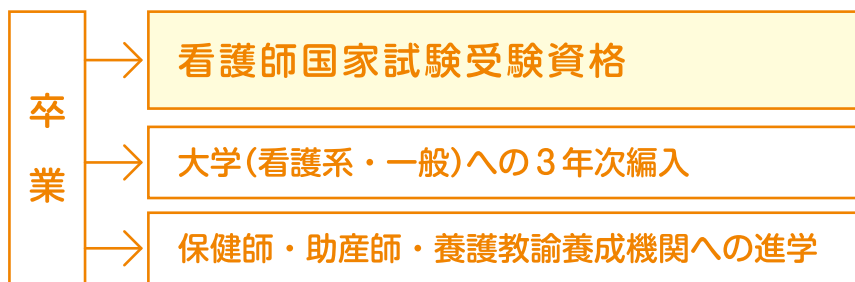
● 他の実習施設

鹿児島県立始良病院
鹿児島市立病院
鹿児島市保健センター（中央・東部・西部・南部）
鹿児島県民総合保健センター
社会医療法人青雲会 介護老人保健施設 青雲荘
医療法人有隣会 伊敷病院
公益社団法人鹿児島県済会 訪問看護ステーションみなみ風
医療法人博悠会 介護老人保健施設ナーシングホーム城山の森
公益財団法人慈愛会 笹貫訪問看護ステーション愛の街
鹿児島医療生活協同組合 生協訪問看護ステーションかもいけ
鹿児島医療生活協同組合 生協訪問看護ステーション・たにやま
社会福祉法人わかさ福祉会 わかさ保育園
株式会社テノ・サポートつくし保育園
社会福祉法人中江報徳園 ひまわり園
社会福祉法人恩賜財団 済生会支部鹿児島県済生会
特別養護老人ホーム高喜苑
武岡台デイサービスセンター
なでしこ訪問看護ステーション
指定居宅介護支援センター高喜苑

鹿児島市地域包括支援センター
公益財団法人慈愛会 谷山病院
居宅介護支援事業所美都
デイサービス美都
ケアプランセンター オアシスケア薬師
デイサービス オアシスケア原良
医療法人平和会 平和会訪問看護ステーション
医療法人慈恵会 城西訪問看護ステーション
医療法人慈恵会 ケアプラン相談センター城西
訪問看護ステーションひなた
社会福祉法人天祐会 居宅介護支援センター七福神
社会福祉法人天祐会 通所デイサービス よかなあ七福神
すこやか子育て交流館 リぼんかん 他



卒業後の進路（過去5年間の実績）



本校を旅立った
卒業生は、
全国の医療現場で
活躍しているよ！



九州

鹿児島県

- 鹿児島医療センター
- 指宿医療センター
- 南九州病院
- 鹿児島市立病院
- 霧島市立医師会医療センター
- 公益財団法人慈愛会 今村病院
- 公益社団法人鹿児島共済会 南風病院
- 鹿児島厚生連病院
- 総合病院鹿児島生協病院
- 公益財団法人慈愛会 谷山病院
- 社会医療法人博愛会 相良病院
- 鹿児島医師会病院
- 医療法人クオラ クオラリハビリテーション病院
- 鹿児島徳洲会病院
- 医療法人慶友会 第一病院
- 医療法人徳洲会 大隅鹿屋病院

宮崎県

- 宮崎東病院
- 都城医療センター
- 宮崎県立病院
- 宮崎病院
- 都城医療センター
- 宮崎大学医学部附属病院

熊本県

- 熊本医療センター
- 熊本再春荘病院
- 社会福祉法人恩賜財団済生会 熊本病院
- 熊本赤十字病院
- 地域医療機能推進機構熊本総合病院
- 熊本大学医学部附属病院

大分県

- 大分医療センター
- 別府医療センター
- 西別府病院

長崎県

- 長崎病院
- 長崎医療センター
- 佐賀県
- 嬉野医療センター
- 福岡県
- 小倉医療センター
- 九州がんセンター
- 九州医療センター
- 福岡東医療センター

関東

東京都

- 東京医療センター
- 災害医療センター
- 国立国際医療研究センター
- 国立がん研究センター中央病院
- 国立成育医療研究センター

東京病院

- 東京病院
- 神奈川県
- 横浜医療センター
- 神奈川病院
- 相模原病院
- 済生会横浜市東部病院
- 箱根病院

埼玉県

- 埼玉病院

中国・四国

山口県

- 関門医療センター
- 島根県
- 松江医療センター

近畿

大阪府

- 大阪医療センター
- 大阪南医療センター
- 国立循環器病研究センター
- 刀根山医療センター

兵庫県

- 神戸医療センター
- 京都府
- 京都医療センター
- 京都都病院

東海

岐阜県

- 長良医療センター
- 愛知県
- 東名古屋病院
- 社会医療法人財団親和会 八千代病院
- 愛知小児保健医療総合センター

独立行政法人国立病院機構

進学先

大学編入

国立大学法人 鹿児島大学医学部保健学科
沖縄県公立大学法人名桜大学
沖縄県立看護大学

養護教諭養成機関

国立大学法人 熊本大学教育学部養護教諭特別別科

保健師・助産師養成機関

独立行政法人 国立病院機構京都医療センター附属京都看護助産学校
熊本保健科学大学助産別科
鹿児島医療福祉専門学校
佐賀県立総合看護学院
藍野大学短期大学部地域看護学専攻
宮崎県立大学別科助産専攻



鹿児島県内で活躍している 卒業生からのメッセージ



平成30年度卒業
(25回生)

田辺 詩織さん

鹿児島大学
医学部保健学科 編入

私は、看護学校を卒業後、鹿児島大学医学部保健学科3年次に編入しました。大学では、医師・看護師・作業療法士・理学療法士を目指す学生同士で多職種連を学ぶ講義や演習があり、またサークル活動も盛んに行われています。自分自身の学びを深められるのはもちろん、他の学生との交流もあり、充実した学校生活を送ることができています。また、ボランティア活動も活発で、私が参加した子ども食堂のボランティアでは地域に住む子どもたちとその家族から実際にお話を聞くことができ、とても良い経験になりました。

編入については、本校の先輩から直接お話を伺い、編入試験の勉強のアドバイスを頂いたり、先生方からは志望理由や試験勉強、面接対策など親身に相談に乗っていただきました。看護学校3年間は決して楽なものではないですが、一緒に学び励みあった仲間や支えてくださった先生方のおかげで、無事編入試験に合格できたと思っています。これからも学び続け、自分の知識や技術の向上に励み、患者さんに真摯に向き合える看護職になれるように頑張っていきたいと思っています。



平成24年度卒業
(19回生)

出口 喬一さん

独立行政法人国立病院機構
鹿児島医療センター
集中治療室 勤務
東京医療保健大学大学院
修士課程 在籍中

私は鹿児島医療センター附属鹿児島看護学校を卒業後、鹿児島医療センターに就職し集中治療室に勤務しています。看護学校時代に「医療は死ぬまで勉強」という言葉を知りました。その言葉は今でも肝に銘じています。

集中治療室では様々な疾患を抱えた患者さんや、それを支える家族の方がいます。目の前にいる患者さんに何が起きているのか、それに対してどのように治療がされているのか、患者さんは何に困っているのか、それに対して自分は何ができるのか。医師の指示に従うだけでなく、看護師には自分で判断して実践することが要求されます。私はいま、高度な知識に裏付けされた実践が行えるよう診療看護師(JNP)を目指し、大学院で学んでいます。少子高齢化は着実に進んでおり、看護師に求められる役割、治療の現場も今後変化していくことが予測されます。患者さんのニーズに応えられるよう日々精進していきたいと思っています。

未来に向けて勇往邁進、自分を信じて頑張りたいと思います。



平成21年度卒業
(16回生)

中村 真子さん

独立行政法人国立病院機構
指宿医療センター 勤務
認知症看護認定看護師

指宿医療センターに就職し、10年目になります。看護学校では友人や先生方、患者さんや家族との出会いや看護の学びが多くありました。今でもその出会いに支えられることがあり、とても充実した学生生活を過ごすことができました。

私は、物忘れや日付、時間が分からなくなるなどの症状をもつ認知症の患者さんやその家族が安心して安全に治療を受けられるように、専門的な知識や技術を身につけたいと考え、認知症看護認定看護師の資格を取得しました。病院での勤務や地域住民の方へ認知症についての講話などを行っています。知り合いがいない環境で入院生活を過ごす認知症の患者さんとなじみの関係になれた時や患者さんが穏やかな表情で入院生活を過ごしている様子を目にする嬉しく思うと同時に看護のやりがいを感じています。

これからも知識や技術を深め、自分の看護を実践していきたいと思っています。



平成17年度卒業
(12回生)

今吉 弥生さん

独立行政法人国立病院機構
南九州病院 勤務
緩和ケア棟副看護師長

私は、卒業して今年13年目になります。現在、南九州病院の緩和ケア棟で副看護師長として勤務しています。緩和ケア棟では、最期までその人らしく一日一日を過ごせるよう支えていくことを大切にしており、責任を感じるとともに看護のやりがいを感じています。

副看護師長に昇任し4年目になります。看護師長と連携し副看護師長としての役割を意識しながら、スタッフがより働きやすい職場になるように管理的な業務も担っています。今は、災害医療班として全職員の指導や訓練、災害時を想定した体制整備に取り組んでいます。また、新人看護師や看護学生の指導を担当し、人を育てることの難しさと成長を見届けたときの喜びを感じています。多くの先輩方の輝く姿を目標に副看護師長として充実した日々を過ごしています。

この看護学校の良さは、同じ夢を持った学生同士、切磋琢磨し、お互い支え合い、教員の支援をもらいながらとことん看護について学べるところです。これからも初心を忘れず頑張っていきたいと思っています。



■市営バス／伊敷ニュータウン線（1番）、伊敷線（24番）、伊敷・鴨池港線（28番、29番）にて下伊敷下車、徒歩5分。
日当平線（5番）にて岩崎下車。

■いわさきバスネットワーク、南国交通、JR九州バス／伊敷、花野団地、川内方面行きにて下伊敷下車、徒歩5分。



鹿児島中央駅から15分、鹿児島駅から15分
鹿児島北ICをおりて国道3号線を左折、1.5km先の下伊敷交差点を左折し150m

〒890-0005 鹿児島市下伊敷1丁目52番17号

TEL (099) 220-0237

FAX (099) 220-0748

H P <https://kagomc.hosp.go.jp/kango/>



独立行政法人 国立病院機構
鹿児島医療センター附属

鹿児島看護学校